

# 総合教育臨床センターだより

2020年3月 第3号

## 総合教育臨床センター主催 シンポジウム 「スクールカウンセラーと特別支援教育」報告

2019年11月30日(土)13時30分から16時までキャンパスプラザ京都 第1講義室において指定討論者に徳田仁子先生(京都光華女子大学)、シンポジストに中井裕子先生(京都教育大学総合教育臨床センター・スクールカウンセラー)、岩瀬佳代子先生(京都市スクールカウンセラー)、中島博子先生(亀岡市立詳徳小学校教諭)、塩見匠先生(京都府立清明高等学校教諭)をお迎えし、特別な教育ニーズのある子どもと「チームとしての学校」について考えるシンポジウムを開催しました。テーマについて、各シンポジストの方々から現場での支援体制、様々な事例、職場での経験から大事にされていることなどについてお話しいただきました。

中井先生からは、特別支援教育におけるスクールカウンセラーの役割や校内の支援体制についてお話しいただきました。特別支援教育において、保護者が子どもの障害を受容するまでの過程にスクールカウンセラーが寄り添うことがスクールカウンセラーの役割でありながらも、近年は特別支援コーディネーターがその役割を担っていたり、発達に関して保護者が相談しやすい体制ができていたりすることについて語っていただきました。また連携にあたり、情報共有や教職員との人間関係づくりが大切であることについて語られました。

岩瀬先生からは、中・高等学校の特別支援コーディネーターとの連携についてお話しいただきました。特別支援コーディネーターの立場やスクールカウンセラーの視点に加え、教師とスクールカウンセラー、家族がコミュニケーションをとることの重要性について、事例をもとにお話しいただきました。

中島先生からは、スクールカウンセラーとの連携についてお話しいただきました。①小中連携、②情報の集約と活用、③児童理解(強み・特性)、④保護者との連携、のキーワードをもとに、登校しぶり、学習のしんどさ、友人関係など、様々な事例を出していただき、それぞれの事例についてのポイントを語られました。

塩見先生からは、特別な教育ニーズのある子どもと「チームとしての学校」について、清明高校の概要をもとにお話しいただきました。様々なサポート体制や教育相談・特別支援教育体制、基礎的環境整備、合理的配慮の内容や、学習や生活についてなど、実際に学校に取り入れられている教育環境についてお話しいただきました。

それぞれ異なる立場からのお話をしていただき、実際の現場の特別支援教育体制や、スクールカウンセラーの連携や役割、学校での取り組みについて様々な方面から学ぶことができました。4名の先生方からの話題提供をうけての指定討論も含め、とても有意義な時間となりました。



## 附属学校スクールカウンセラーより -附属京都小中学校-

平成 23 年 4 月に SC として赴任して、今年度で 9 年目を迎えました。カウンセリング室は中高等部のある東エリアにあります。初等部の西エリアにも足を運んで初等部の先生方とも連携しながら活動しています。

カウンセリングやコンサルテーションだけでなく、ここ数年は児童相談所や外部の相談機関など、関係機関との連携の場に参加させていただく機会が増えてまいりました。心理の専門家の立場から参加させていただき、さまざまな立場の方と情報交流をしながら、チームを組んで児童・生徒の育みを支援する。そのチームを児童・生徒の「応援隊」と表現された先生がおられ、素敵なお言葉だと思いました。「応援隊」の一員として、今後も多職種連携を大事に活動していけたらと思います。

この年明けより、東エリアの校舎改修工事が始まりました。これまで主に東エリアで学んでいた 5 年生から 7 年生までの中等部の児童・生徒は、主に初等部のある西エリアで学校生活を送ることになります。児童・生徒も、先生方も東エリアと西エリアを行き来して、なかなか大変そうですが、両エリアの交流が活発になるなどのいい面を大切に見ていきたいと思っています。私も西エリアに足を運ぶことが増えるのを楽しみにしています。

(附属京都小中学校 荒井久美子)

## 心理教育相談室について

### 平成 30 年・平成 31 および令和元年度(1 月まで) 相談件数報告

<相談件数>

|        | 平成 30 年度 | 平成 31・令和元年度<br>(1 月まで) |
|--------|----------|------------------------|
| 実相談件数  | 80       | 58                     |
| 延べ相談件数 | 846      | 467                    |



<平成 30 年度 相談内容>

|      | 不登校 | いじめ | 非行<br>しつけ | 学業<br>不振 | 進路<br>適性 | 発達の<br>遅れ | 対人<br>関係 | 行動<br>性格<br>情緒 | その他 | 計   |
|------|-----|-----|-----------|----------|----------|-----------|----------|----------------|-----|-----|
| 相談件数 | 15  | 0   | 3         | 4        | 3        | 2         | 20       | 27             | 6   | 80  |
| 延べ件数 | 109 | 0   | 19        | 26       | 79       | 4         | 197      | 309            | 103 | 846 |

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。

075-644-8824 (月曜～金曜, 午前 10 時～午後 4 時)

## 教育臨床心理実践拠点・スタッフ

兼任教員 (センター長) 教授 内田利広 非常勤カウンセラー 岩井秀世 (月曜)  
兼任教員 教授 森孝宏 准教授 西村佐彩子  
相談補佐員 荒井久美子 (月・火曜) 山下理佳 (水・金曜) 吉岡笙子 (木曜)

## 特別支援教育臨床実践拠点の取り組みについて

### 1. 京都府総合教育センターとの連携

京都府総合教育センター特別支援教育部は、文部科学省「2019年度 学習上の支援機器等教材活用評価研究事業」の委託を受け、通常の学級に在籍する読み書きに困難のある児童生徒を対象に、ICT機器等を活用した指導・支援について以下の内容について取り組みました。

- ① 読み書き困難の状況を明らかにするアセスメントの実施
- ② ICT機器や音声教材を活用した読み書きの代替手段の確保
- ③ 児童生徒へのICTを活用した学びの指導の実践
- ④ 地域および学校を挙げた支援体制の構築

2020年3月にその成果をリーフレットとして作成し、京都府立の各学校に配布しました(図1)。特別支援教育臨床実践拠点は、この取り組みに研究協力者として参加してきました。

リーフレットは京都府総合教育センターHP(下記)からダウンロードすることができます。

[http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms\\_files/tokubetusien/yomikaki/doc\\_rIyomikaki\\_0I.pdf](http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms_files/tokubetusien/yomikaki/doc_rIyomikaki_0I.pdf)

### 2. 京都府スーパーサポートセンターとの連携

京都府スーパーサポートセンターでは、障害のある人と障害のない人、多様な人々が共に生きることのできる「共生社会」を目指すため、障害への理解が大切であることを学校で理解を広げることが目的として、多様性を受け入れる心情と態度を育てる「障害理解教育」の授業作りについてのリーフレットを作成しています。

リーフレットでは、視覚障害や聴覚障害、肢体不自由等の障害理解を進めるための授業づくりについて、「知る」「体験する」「考える」「実践」といった視点をヒントに「障害理解教育」の進め方を具体的に紹介しています。

特別支援教育臨床実践拠点は、この取り組みに助言者として参加しました。

リーフレットは、4月以降に京都府スーパーサポートセンターHP(下記)からダウンロードすることができます。

<http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-ssc/cms/>



図1 ICT活用リーフレット表紙



図2 「障害理解教育」リーフレット表紙

### 3. 京都府・京都市教育委員会との連携

2016年度から、京都府・京都市教育委員会と連携し、教育創生リージョナルセンター機構の取り組みの一環として、連携講座を実施してきました。学び続ける教員をサポートすることと、教職キャリアの充実を計ることを目的としています。2020年度は以下の予定で実施することとなりました。

表1 特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップ」講座  
(京都府)

| 日程        | 13:00~14:40              | 14:50~16:30           |
|-----------|--------------------------|-----------------------|
| 10月19日(月) | 講義Ⅰ・演習Ⅰ<br>個別の指導計画の作成と活用 | 講義Ⅱ・演習Ⅱ<br>不器用さの理解と対応 |
|           | 教授 佐藤克敏                  | 准教授 牛山道雄              |

表2 京都市教育委員会・京都教育大学連携講座 特別支援教育スキルアッププログラム

|   | 実施日       | 時間  | 10:30~12:00          |
|---|-----------|-----|----------------------|
| 1 | 6月27日(土)  | 講座名 | ユニバーサルデザインの授業づくり     |
|   |           | 担当  | 教授 相澤雅文              |
| 2 | 8月29日(土)  | 講座名 | ソーシャル・スキルトレーニングの基礎基本 |
|   |           | 担当  | 准教授 佐藤美幸             |
| 3 | 10月31日(土) | 講座名 | 学校の宿題と個別の配慮          |
|   |           | 担当  | 准教授 丸山啓史             |

## 発達相談について

### 2018年度相談件数

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| ASD  | 3  | 3  | 4  | 1  | 5  | 7  | 11  | 19  | 12  | 9  | 7  | 9  | 90  |
| 知的障害 | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| ADHD | 3  | 4  | 4  | 4  | 3  | 4  | 4   | 4   | 3   | 0  | 0  | 0  | 33  |
| LD   | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 2  | 3   |
| 未診断  | 1  | 0  | 2  | 5  | 4  | 2  | 8   | 8   | 11  | 12 | 7  | 14 | 74  |
| その他  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| 計    | 8  | 7  | 11 | 10 | 13 | 13 | 23  | 31  | 26  | 21 | 14 | 25 | 202 |

## 特別支援教育実践拠点・スタッフ

専任教員:教授:相澤雅文

兼任教員:教授:藤岡秀樹, 准教授:田爪宏二(以上 教育学科), 准教授:牛山道雄, 佐藤美幸, 丸山啓史(以上 発達障害学科)

相談補佐員:松中修子(月, 木), 福井めぐみ(火, 水, 金)